

北日本新聞 2015年6月17日付

**水橋橋まつり  
ポスター完成** 2015.6.17

来月25日花火大玉30連発  
7月25日に富山市水橋地区の白岩川河畔で開かれる「水橋橋まつり」（北日本新聞社共催）のポスターとプログラムが完成した。

ことしの花火大会では、初めて大玉30連発を行う。花火に込められたストーリーもマイクで紹介する。小学生から

高橋生までの吹奏楽演奏や、川面を照らす恒例の火流しもある。

ポスターは実行委員会（岡田美乃利委員長）が800枚作製。QRコードを読み取る



完成した水橋橋まつりのポスター

と、駐車場やトイレの位置、スケジュールなどが分かるようにした。プログラムは地元企業などの協賛を得て6500部作った。

岡田委員長(70)は「大迫方の花火と吹奏楽演奏は圧巻。地元力を合わせて成功させたい」と意気込んでいる。

北日本新聞 2015年7月16日付

**水橋橋まつりの  
協力態勢を確認** 2015.7.16

25日に富山市水橋地区の白岩川河畔で開かれる「水橋橋まつり」（北日本新聞社共催）の全体協議会が15日、富山市水橋商工文化会館で行われ、まつりに向けて協力態勢を確認した。写真。

ことしの花火大会では、初めて大玉30連発を打ち上げる。水橋地区の小学校5校の児童が作ったパイオ燃料を使った火流しや、小中学生と高校生によるプラスチックバンド演奏などもある。

全体協議会には住民や警察、消防、学校の関係者ら約



40人が出席した。ホームページの作成や出店の状況、交通の注意点などについて各担当者が説明した。

岡田美乃利実行委員長は「地元協力あつてのまつり。確実に成功させ、3年後の150年祭を迎えたい」と話していた。

北日本新聞 2015年7月26日付

**吹奏楽パレード華やか  
水橋橋まつり盛り上げる**



白岩川に架かる東西橋で演奏しながらパレードする水橋中の生徒 2015.7.26

富山市水橋地区の夏の一大行事「水橋橋まつり」が25日、同地区を流れる白岩川周辺で開かれた。うだるような暑さの中、大勢の住民らが中学生による迫力ある吹奏楽演奏や

露店巡りを楽しんだ。

【関連記事38面】  
白岩川に架かる東西橋で開会式があり、岡田美乃利実行委員長が「楽しかった、良かったと言えるまつりにしたい」とあいさつ。水橋中吹奏楽部（榎亭映部長）の部員27人が「自由の鐘」を演奏しながら白岩川沿いをパレードし、オープニングを盛り上げた。

水橋中部小体育館では同小と水橋西部小の児童や、三成中と水橋中、水橋高の生徒によるステージがあり、踊りや吹奏楽演奏を披露した。

水橋地区では1869（明治2）年、常願寺川流域の神

社境内の太木を活用し立山橋（現在の東西橋）が完成。神木を切ったことへのおわびや感謝、川の安泰への願いを込め、橋のそばに余った材木で水神社を建立して行った祭礼が、橋まつりの起源という。

まつりは、水橋橋まつり協議会、水橋地区自治振興会、市北商工会水橋支所でつくる実行委員会が主催。北日本新聞社など共催。